

# シリーズ「学校薬剤師の仕事」(3)

## 東京都学校薬剤師会副会長 谷口 廣光

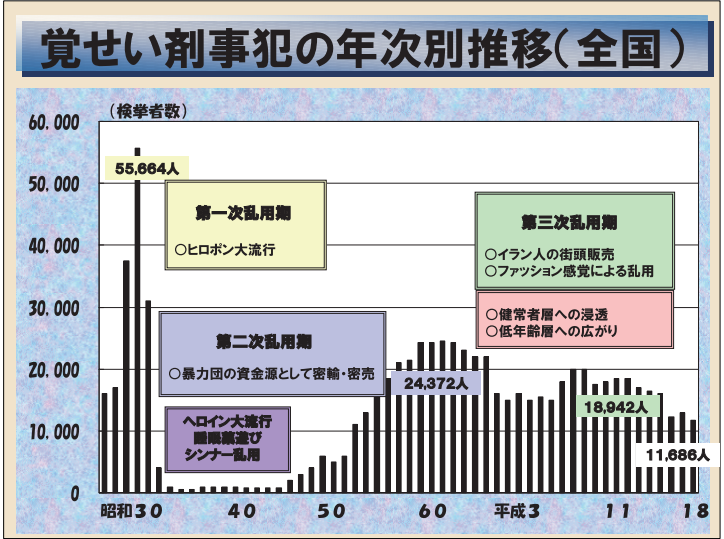
昭和20年太平洋戦争が終了した後、物・食料不足に加え、娯楽も失われた中、戦時中兵士に対し戦意高揚の目的に使用されていた覚せい剤が一齐に闇市場に流入。これを機に始まった覚せい剤乱用も第1次・第2次乱用期を経て、現在第3次乱用期に入っているが、その勢いが止まっていない。

しかも、MDMAや脱法ドラッグと呼ばれた薬物が「厚生労働大臣指定薬物」として、法規制を受ける薬物の仲間入りをし、乱用される薬物は多様化、乱用者の低年齢化も叫ばれている。

昭和30年代、少年少女たちがクスリの乱用に溺れた頃があった。その代表はハイミナルなど睡眠薬の乱用で、もうろうとした酩酊

状態に浸ることを“遊び”とした。睡眠薬が規制対象になると鎮痛剤、果ては目薬へと乱用対象は移っていったとされる。昭和40年代に入るとクスリから離れシンナーを吸入し、酩酊感を楽しむにまで至った。そしていまや覚せい剤に代表される“ハードドラッグ”と称される薬物乱用にまで広がってきた。

クスリはまさに両刃の剣。使い方を誤れば乱用や遊びの具ともなり、さらなる薬物乱用への入口ともなり得る。本来、クスリが人の傷を癒し、病を去り、苦痛より開放し、人間に大きな有益性を持つことを児童・生徒の時



代から教育すべきと歴史は物語っている。

そこで東京都学校薬剤師会では、児童・生徒に向けた「クスリの正しい使い方」「薬物乱用防止」教育マニュアルを作製、教育活動を進めている。

# 薬教育・薬物乱用防止教育

## 重要性高まる児童・生徒への

し、必要に応じ医師・薬剤師に伝えることが大切。のみ合わせによって副作用に似た症状も出るため、複数のクスリをのむ時は、専門家によく相談することの必要性を伝え、クスリの保管では太陽光・湿気・高温を避けることが必要——など、クスリを真に有益なものとして活用するためには、多くの守るべき注意点・留意点があることを、児童・生徒たちに十分認識させることが焦点になる。

### 「薬物乱用防止」教育

単に面白半分の興味心でクスリを使用、一度に倍量のむことで、より早く高い効果を期待するなどの不正な使用を薬物乱用と呼ぶ。またシンナーも、ペンキ・接着剤にといった正しい使用目的を離れ吸入するなど、社会規範を外れた薬物使用を称して薬物乱用という。中には何ら有益な使用目的のない単に歪んだ快楽だけを目的とした薬物もある。

では、薬物乱用はなぜいけないのか。時実(ときざね)利彦先生によれば、「人間は、知性と理性を持って思考し、判断し、手足を使い言葉を使う」とする。まさに「脳が人間のすべて」と述べている。いわば人間の指令塔

ともいえる脳の機能を障害し、狂わせるのが薬物乱用である。

「たった一度だけなら」の興味心から入る乱用は、やがて自分の意志では避けられない精神依存状態に陥る。また身体的苦痛を伴う身体依存が見られる場合もある。この依存状態は、乱用の継続から、慢性中毒となり、常時スキあらば危害を加えようと衆人監視の目に曝されている恐怖・妄想に悩み、さらには幻視・幻聴など視覚、聴覚異常(幻覚)が見られるようになる。時に過激な刺激を求め、過量摂取し死に至る急性中毒も恐ろしい。さらに薬物乱用にはフラッシュバックと呼ばれ、乱用行為をやめ、治療に専念し、快癒した後でも過労・過飲酒・ストレス等を引き金に、突然あの忌まわしい妄想・幻覚が蘇ることもある。

「薬物乱用は、入るは易く、出口のない闇の世界であること」を結びとします。

(おわり)

参考: 「脳の話」 時実利彦著 岩波新書

「ドラッグでつづる文化風俗史」

中村希明著 ブルーバックス

## 「クスリの正しい使い方」教育

人間には生まれながらにして備わった自然治癒力があるが、多くの場合、その傷病や苦痛は、自然治癒力を上回る。その時、使用されるのが言わずと知れたクスリ。しかし、クスリが必ずしも人間にとって良いものではないこともある。例えばニトログリセリンはその量によっては爆薬となり人を殺戮する。

クスリには大衆薬と、医師の処方せんに基づき調剤されるものがあり、後者は病気、体質を考慮してつくられたクスリ。本人以外の使用は許されない。また内用薬・外用薬・注射薬とあり、目的に合わせ、より効果的、かつ使用に適した剤形が選択される。使い方も違いがあり、十分な説明を受けることの重要性を理解させる必要がある。特に、常に血中濃度を一定範囲に保つことが治療上必要とされる場合、必ず守らなければならない服用方法が指示されること。内用薬は水またはぬるま湯で服用し、ジュース・コーヒー等での服用は好ましくないことなども理解させる

副作用については正しく使用しても体質に合わないため、めまい・頭痛・発疹などが好ましくない作用として出ることがある。一度そのような経験をしたクスリについては記録



常にいきいき。  
どこでもハツラツ。  
マツモトキヨシは、  
「人間力」で動いています。



← 新卒薬学専用  
モバイル版就職サイト

薬剤師(新卒・中途)募集中!

株式会社マツモトキヨシ  
人事部採用課

〒270-8501 千葉県松戸市新松戸東9-1

学生専用フリーダイヤル 0120-047-300

http://www.r-matsukiyo.com/